

令和4年度 磐田市立豊岡中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	1学期 数値%	2学期 数値%	自己 評価	考察	学校関係者評価委員から
自立した 心豊かな 人を育成 する (真理)	確かな学力づくり	「授業の内容がよくわかる」と答える生徒 92%	91	89	B	○一人一台端末の効果的な活用等はかなり定着が図られ一定の成果をあげることができた。 ○授業が楽しいという評価は安定していたのがよかった。 ●生徒に学びのハンドルを任せる(生徒の主体性を重んじた)授業改善の意識は道半ばである。対話活動や自分で追究する場を設定することがさらに必要である。 ○普段の生徒指導に加え、ハイパーQU検査やレジリエンス検査(昨年度から実施、2年目)などを活用した深い生徒理解に努めることができた。 ●教師側は生徒理解研修等で子供についての理解を進めきめ細やかな支援・指導を心掛けているが、保護者への連絡や相談面についてはさらなる工夫が必要である。 ○生徒一人一人にとって安心・安全な環境が構築され、生徒が仲間と協力しながら楽しく生活する様子が様々な場面で見られた。○教育相談や三者面談、保護者面談等で生徒や保護者の気持ちに寄り添う指導ができた。外国人生徒や様々な背景をもつ多様な生徒の割合が増えているが、今後も指導・支援を充実させていきたい。 ○生徒、教師、地域の信頼関係の維持のもと、行事や総合的な学習の時間等で、仲間と協力して生活できている。 ○学級力向上を目指した一連の取組(PDCAサイクルを意識したアンケート&話し合い活動)によって生徒の自治的活動が高まり、主体的な取組を創出することができた。 ●保護者に、生徒の良い表れについて気軽に連絡することを増やしていきたい。 ○学校生活における様々な活動でPDCAサイクルを意識した活動が行われることで、目標を達成しようと意欲的に取り組む生徒は多い。 ●コロナ禍によって、生徒自身も挑戦できる場が減少しており、ポストコロナを見越した活動を増やしていきたい。 ●保護者に学校教育活動を発信することについては、さらに充実していく必要がある。	○コロナ禍において授業形態や活動内容が制限される中、若手教員を中心に一人一台タブレットを積極的に活用している様子や、生徒が明るい表情で真剣に学習へ取り組んでいる様子から良好な学校運営がなされていると認識している。 ○数値について、教師側は物足りなさを感じているかもしれないが、生徒も教師もよく頑張っていると考えている。 ○B評価もあるが、数値のみみると、どれも概ね高く全体的には満足できる成果が出ているのではないかと。細かい部分については、個を具体的に追ってみないと分からないので、今後も丁寧な指導をお願いしたい。 ・今年度の1年生が例年よりも評価が低くなっているところについては、最初は頑張っていたが、自分を出し過ぎてしまう生徒と、逆に出せなくて内にこもる生徒の2極化が進んだと考えられるので、まさに、レジリエンスの獲得が求められると考える。 ●豊岡地区は通学範囲が広いので下校の安全指導についてはさらに充実してもらいたい。
		自ら進んで追究したり、他者と共に解決しようとする生徒85%	82	76	B		
	人間尊重を基盤とした人づくり、学級・学年・学校づくり	「学校生活が楽しい」と答える生徒 95%	91	85	B		
		豊岡中の先生は、子供のことを理解して指導にあたっていると考える保護者 95%	88	79	B		
	一人一人が安全・安心を感じる環境づくり	「わたしたちの学校には安心・安全な環境がある」と答える生徒 95%	97	95	A		
		個に応じたきめ細やかな支援・指導ができている教師 90%	100	88	A		
共によりよく生きていく人間関係を築く人を育成する(友愛)	主体的なコミュニケーションづくり	仲間と協力し、思いやりの心をもって生活している生徒 95%	98	96	A	・今は心に問題を抱えている生徒が増えている印象なので、話題にあがったソーシャル・スキル・トレーニングなどが必要になってきていると考えられる。	
	身に付けた力を周りの人のために役立てる力づくり	豊岡中の先生に、子供のことを相談しやすい保護者 90%	88	89	B		
夢や希望に向かって挑戦し続ける人を育成する(挑戦)	自己の可能性を広げ、夢を育む環境づくり	困難なことに直面してもあきらめず乗り越えたくましさがある生徒 85%	82	79	B	○生徒が互いに関わり合いながら、個性を伸ばさせたり、たくましさをもつことを願うとともに、先生方の更なる尽力を期待している。 ○来年度はコロナも5類になり、以前のような活動もできるようになると思うので、中学生が地域の行事にも積極的に参加し、これからの地域を背負っていく人材として、地域と関わりながらまっすぐ成長することを期待している。	
		学校教育目標・目指す生徒像を意識して指導している教師 90%	100	94	A		
		学校で目指そうとしている子供の姿や教育内容について知っている保護者 85%	83	76	B		

学校関係者評価を受けてのまとめ

本年度の教育実践について、学校運営協議会で評価と承認を得た。来年度も、「潤いと活力に満ちた学校」を学校経営目標に掲げ、学校教育目標に示された「主体性」や「たくましさ」を育む教育活動を教職員一丸となって行っていきたい。また、幼小中学校の連携を一層推進し、12年間を通して豊岡地区の子供を育てていきたい。今後もこれまで本校が大切にしてきた「子どもを大切に」「地域に根ざした」教育活動を推進・実践していく。